

川の水位上昇にご注意ください

～名張川3ダムフラッシュ放流で河床をリフレッシュ～

独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所が管理する名張川3ダム（青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダム）では、梅雨や台風に備えて貯水位を下げていきます。この水位低下の操作を利用して、次のとおりダム下流の河川環境に配慮した放流（フラッシュ放流）を実施します。

なお、室生ダムのフラッシュ放流では、ゲート点検を兼ねて、洪水吐きゲート（堤頂に設置したゲート）からの放流を行う予定としています。

日時 令和6年5月13日（月）

青蓮寺ダム 放流（増量）開始 9:30～放流（増量）終了 15:00（予定）

室生ダム 放流（増量）開始 8:30～放流（増量）終了 14:00（予定）

比奈知ダム 放流（増量）開始 8:30～放流（増量）終了 16:00（予定）

今回のフラッシュ放流は、ダムから放流する水を一時的に増やし、石などに付着した泥や藻類等を剥離させるなど河床をリフレッシュすることで、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境へと改善を目指す取り組みです。

ダム下流の河川では、ダムの放流により徐々に水位が上昇しますので、河川を利用される場合は十分注意してください。

当日は各ダムから放流開始に合わせた警報（放送、サイレン）を行うとともに、河川巡視を実施します。

取材にお越しの場合、また当日の状況写真を希望される場合は事前に問い合わせ先までご連絡ください。



令和6年4月26日

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

三重県政記者クラブ
名張市政記者クラブ
桜井市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 調整課長 久保田（くぼた）
総務課長 西岡（にしおか）

住所：三重県名張市下比奈知2811-2

電話：0595（64）8961（代）

青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダムの 下流河川環境に配慮したフラッシュ放流について

1. 目的

ダムからの放流による流水の増加によって攪乱を起こすことにより、石などに付着した泥や藻類等を剥離させ、河床をリフレッシュすることで、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境への改善を目指す目的で、フラッシュ放流という取り組みを行っています。また、フラッシュ放流と同時に、ダム上流に堆積した土砂の一部をダム下流に置き、流すことで、藻類の剥離効果を向上させ、より良好な環境への改善を目指します。

○ 過去のフラッシュ放流の実績

- ・ 比奈知ダム 平成 16 年度～（25回実施）
- ・ 室生ダム 平成 19 年度～（15回実施）
- ・ 青蓮寺ダム 平成 20 年度～（15回実施）

フラッシュ放流に合わせて、下流河川の流れや水質等について調査し、今後のダム下流河川環境に配慮したダム管理を行うための基礎資料を収集します。

2. フラッシュ放流の概要

① ダム管理の現況

青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダムでは、洪水期が始まる6月16日までに、梅雨や台風に備えて洪水調節の容量を確保するため、洪水貯留準備水位まで貯水位を低下させる予定としています。今回のフラッシュ放流は、この水位低下操作の一環として行います。

また、室生ダムにおいては、洪水吐きゲート設備の点検をあわせて実施することで、洪水吐きゲートを利用したフラッシュ放流を実施する予定です。

② フラッシュ放流の実施予定日時

日時：令和6年5月13日（月）8時30分～16時00分

最大放流量：ダムからの放流量を徐々に増やし、最大放流量は約2時間継続させます。

青蓮寺ダム	最大毎秒約30立方メートル
	放流量が最大になる時間 11時30分から13時30分頃
室生ダム	最大毎秒約30立方メートル
	放流量が最大になる時間 10時30分から12時30分頃
比奈知ダム	最大毎秒約30立方メートル
	放流量が最大になる時間 11時30分から13時30分頃

※フラッシュ放流予定日前後の気象条件等によっては、フラッシュ放流を中止する場合があります。

③ 室生ダムの洪水吐きゲートからの放流（右写真）

洪水調節時に使用する堤頂に設置した洪水吐きゲートの点検放流を兼ねたフラッシュ放流を行います。

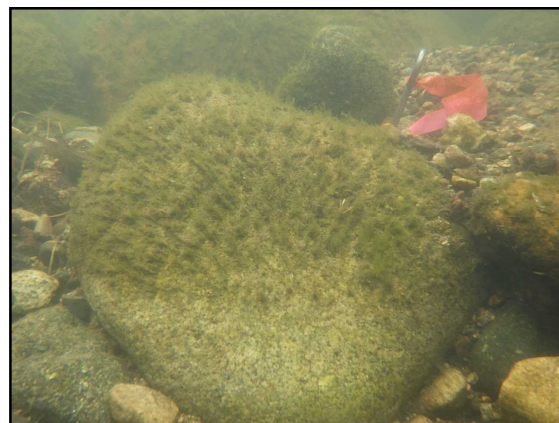


④ フラッシュ放流で期待する効果

フラッシュ放流を実施する前は、石の表面が藻類等に覆われていますが、フラッシュ放流後は、それらが流され、石の表面が明瞭に確認できます。このように河川環境の改善効果を期待しています。



放流前



放流後

3. ダム下流河川の水位の上昇予測について

今回のフラッシュ放流によって、ダム下流の名張川では、次のとおり水位が上昇することが予想されますので、注意してください。なお、フラッシュ放流時は河川利用者の安全確保のため、放流警報（放送、サイレン）と河川巡視を行います。河川利用者の方には、河川から出ていただくことをお願いする場合がありますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・名張川（鍛冶町橋付近）：最大で約1.2m上昇
- ・名張川の宇陀川合流点（名張大橋付近）：最大で約0.9m上昇
- ・宇陀川（赤目口橋付近）：最大で約0.6m上昇



4. 警報等の実施について

当日は、8時30分頃からダムからの放流量を徐々に増加させるため、安全面に配慮し放流警報（放送、サイレン又はサイレン疑似音を鳴らします。）を行います。

青蓮寺ダムの概要

■ダムの諸元

ダム型式 : アーチ式コンクリートダム
 堤体積 : 約175千 m^3
 堤高 : 82.0m
 堤頂長 : 275.0m
 湛水面積 : 1.04 km^2
 流域面積 : 100 km^2
 管理開始 : 昭和45年7月

■ダムの目的

1. 洪水調節

下流河川での洪水被害を軽減することを目的に、ダム地点における計画高水流量980 m^3/s のうち430 m^3/s をダムに貯留し、450 m^3/s をダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持

下流河川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 水道用水

水道用水として阪神地区に最大2.3 m^3/s 、名張市に最大0.19 m^3/s を供給する。

4. 特定かんがい

かんがい用水(青蓮寺用水)として名張・伊賀地区に最大1.60 m^3/s を供給する。

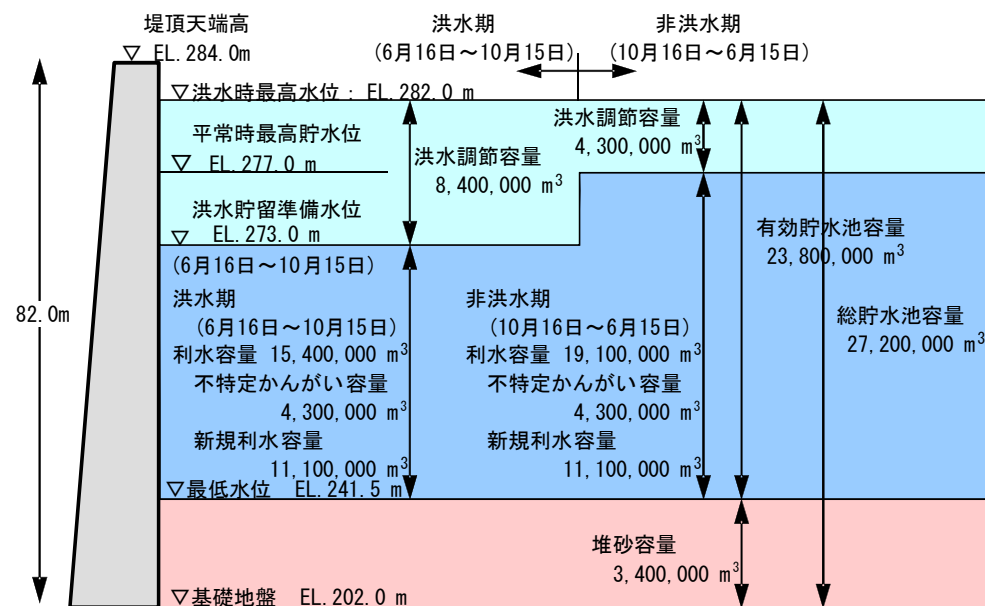
5. 発電

中部電力が管理する青蓮寺発電所※で、最大出力2,000kWの発電を行う。(最大使用水量3.9 m^3/s)

※ 平成25年4月に三重県企業庁から中部電力に譲渡された。



■貯水池容量配分図



室生ダムの概要

■ダムの諸元

ダム型式 : 重力式コンクリートダム
 堤体積 : 約153千 m^3
 堤高 : 63.5m
 堤頂長 : 175.0m
 湛水面積 : 1.05 km^2
 流域面積 : 169 km^2
 管理開始 : 昭和49年4月

■ダムの目的

1. 洪水調節

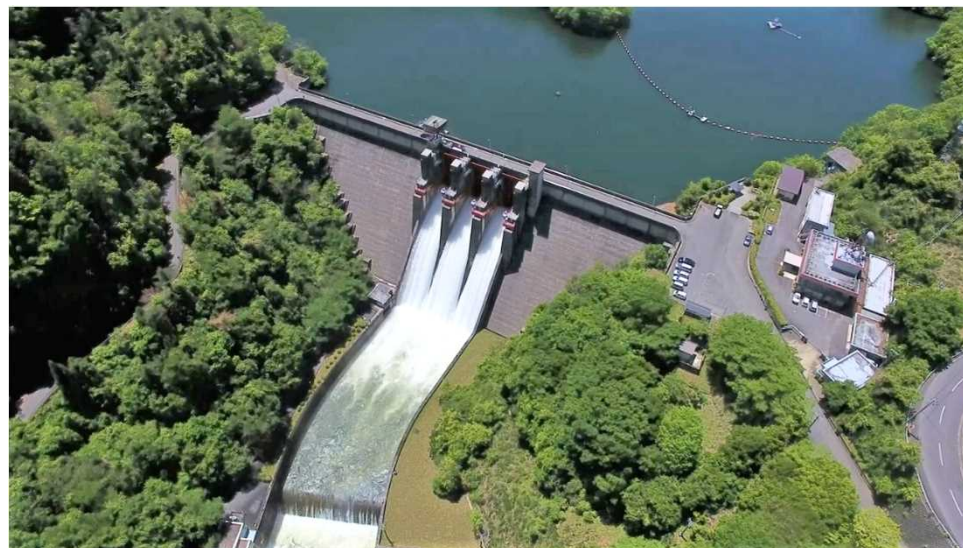
下流河川での洪水被害を軽減することを目的に、ダム地点における計画高水流量730 m^3/s のうち430 m^3/s をダムに貯留し、300 m^3/s をダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持

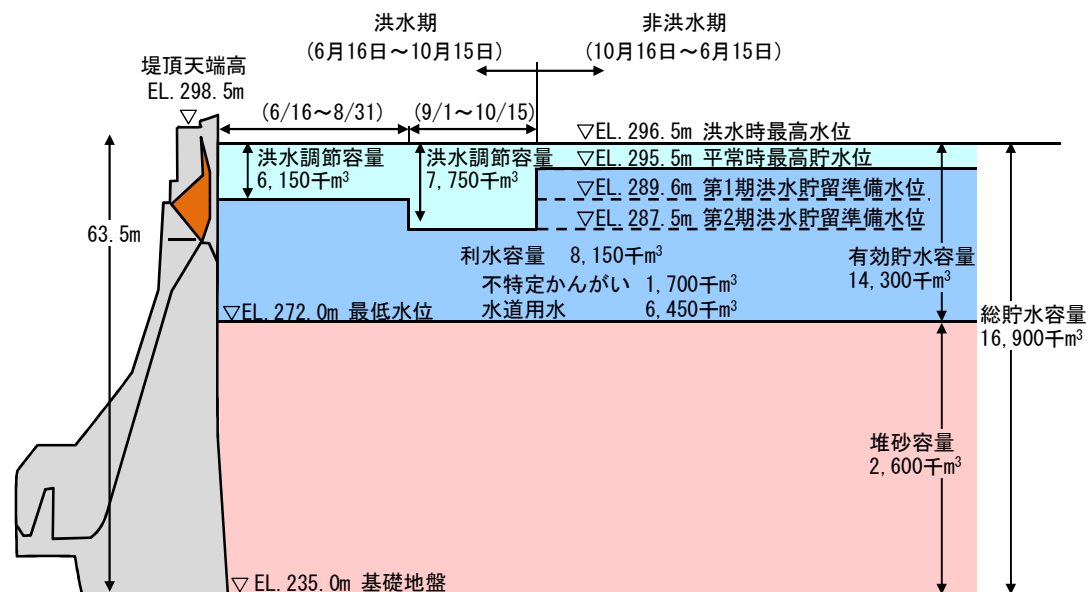
下流河川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 水道用水

水道用水として大和平野の各都市に、貯水池から初瀬水路を経て、最大1.6 m^3/s を供給する。



■貯水池容量配分図



比奈知ダム の概要

■ ダムの諸元

ダム型式 : 重力式コンクリートダム
 堤体積 : 約426千m³
 堤高 : 70.5m
 堤頂長 : 355.0m
 湛水面積 : 0.82km²
 流域面積 : 75.5km²
 管理開始 : 平成11年4月

■ ダムの目的

1. 洪水調節

下流河川での洪水被害を軽減することを目的に、ダム地点における計画高水流量920m³/sのうち620m³/sをダムに貯留し、300m³/sをダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持

下流河川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 水道用水

水道用水として名張市に最大0.3m³/s、京都府に最大0.6m³/s、奈良市に最大0.6m³/sを供給する。

4. 発電

中部電力が設置した比奈知発電所で、最大出力1,800kWの発電を行う。(最大使用水量3.7m³/s)



■ 貯水池容量配分図

